

みんなで知ろうグリーンインフラ（第2回）報告書

令和6年10月20日（日）

杉並区 都市整備部 土木計画課

◆第2回 みんなで知ろうグリーンインフラ

開催日時：令和6年10月20日（日） 午前11時00分～午後15時00分

場所：善福寺公園（下池・あずまや付近）

参加者人数：27名（子ども6名）

◆カエル博士の「あまみず浸透実験」

カエル博士から浸透実験についての説明をしてもらいました。

川の水は、どこから流れてくるのでしょうか、川の水の源は、雨です。

昔は、みどりなども多く川に流れる前に地面にしみ込む量も多かったため、川に流れる水は少なかった。

今は、都市化が進み、道路や駐車場、コンクリートの施設が多くなり、地面が固められたことによって、降った雨が土などにしみ込む量が減り、川に流れる水の量が多くなり、洪水になってしまう要因にもなっています。

降った雨のうちどのくらいの量が土にしみ込むかによって、洪水への影響が変わってきます。土地の状態によって、しみ込む量が違うとされています。

グラウンドだと約7mm/hr、農地だと約215mm/hrなどと言われています。

土地の状態によって、本当にしみ込む量が違うのでしょうか。今回は、状態の違う土地3箇所での水の浸透実験を行っていただきます。



善福寺公園の土の状態が違う3地点で浸透実験を実施しました。
各地点の特徴を参加者に考えてもらいました。主な特徴は下記のとおりです。

A地点の主な特徴

- ・土が固い。
- ・人が歩く道
- ・砂
- ・落ち葉が少しある
- ・草が生えていない



B地点の主な特徴

- ・木の真下
- ・葉がとてももろい
- ・土がほぐれている
- ・土がやわらかい
- ・落葉が多い
- ・下草があまりない
- ・日影



C地点の主な特徴

- ・真上に木がある
- ・下草が多い（根っこ）
- ・土がやわらかい
- ・日向



